

## 第4領域「学級経営の理論と実践」

雲尾 周

### 1. 授業の概要

#### 1) 設定趣旨

生きる力は教育課程全体ではぐくむものであるが、特に、対人的スキル等については、特別活動において育成を図ることが効果的である。生きる力をはぐくむ学級経営のあり方を考究するために本授業を設定した。

#### 2) 概論的内容（5月11日：第1回～第3回）

特定連携協力校である小針中学校を会場としているため、まず同校の高地校長から「こぼりの教育」についてお話しいただき、同校勤務の院生からも説明を追加した。以下、シラバス記載の内容は略し、特徴ある活動等のみ記す。

### 2. 各回の視点

#### 1) 小学校教育（6月8日：第4回～第6回）

附属新潟小学校研究主任をゲストスピーカーに迎え、「附属新潟式学級力」について説明を受けた。「教員が互いの学級を開き合い、語り合い、共に子どもを育てていく学校環境をどのように作り上げていくか」についてのグループ協議とプレゼンテーションを行った。

#### 2) 中学校教育（7月6日：第7回～第9回）

中学校の学級経営を「組織づくり」、「活動づくり」、「人間関係づくり」という観点から整理し、生徒会活動や学校行事といった特別活動の視点からとらえるとともに、文部科学省の論点整理などの資料を基に、これからの学級経営について考察した。

#### 3) 特別支援教育（8月3日：第10回～第12回）

発達障害を含めた多様な子どもたちがいる学級の中で生じた問題について、グループ毎にロールプレイや協議をしながら解決策を考えた。これらを通して、一人ひとりを尊重し認め合う共生社会実現に向けた学級経営のあり方について理解を深めた。

#### 3. まとめ（8月31日：第13回～第15回）

学級経営の枠を学年経営、異学年交流、地域活動というフレームで捉えなおすとともに、いじめ、不登校、暴力行為といった今日的課題を、事例を基に検討した。